

平成 28 年度 推薦入学の選考基準に関する資料

平成 27 年 11 月 19 日

沖縄県立読谷高等学校

1 出願について

(1) 推薦の資格

次のア～ウのすべてに該当する者で、中学校長が推薦する者

ア 平成 28 年 3 月に県内の中学校を卒業見込みの者

イ 推薦志望学科に対する目的意識が明確であり、かつ当該学科への興味・関心があり、当該学科の教育を受けるにふさわしいと判断される者

ウ 本校の選考基準をみたす者

(2) 出願の要件 次のア又はイの要件を満たしている者

ア 「自己表現」

次に掲げる諸活動(ア)～(オ)の実績等について自分を表現することができること。

なお、当該活動の実績については、証明する資料(賞状、認定証等)の写し(A4版：1枚(実績が上位のもの1件))を提出すること。

(ア) 文化活動……音楽、美術、書道、演劇、舞踊、弁論、作文、生徒会活動等

(イ) スポーツ活動……スポーツ全般

(ウ) 社会活動……地域活動、青少年意見発表、子ども会リーダー等

(エ) ボランティア活動……JRC、身体障害者大会、ユニセフ、赤い羽根、ボーイスカウト、ガールスカウト等

(オ) 資格取得等の活動……英検、漢検、珠算、ワープロ、書写検(ペン字)等

イ 「個性表現」

次の(ア)～(オ)の諸活動のうち、どちらか1つの分野について表現することができる。

(ア) 音楽、美術及び書道の芸術分野……音楽、美術、書道等

(イ) 文芸及び研究等の分野……創作、各種研究等

(ウ) 舞踊、創作ダンス及び手話等の身体的活動を伴う分野

……舞踊、創作ダンス、手話、体育的活動等(スポーツに関する分野)

(エ) 留学等の体験的活動を伴う分野……留学、交流活動等

(3) 募集人員

募集定員の25%(80名)以内。次の項目(ア、イ)のいずれかを希望すること。併願はできない。

ア「一般推薦」 20%(64名)以内

a 出願の要件のア「自己表現」又はイ「個性表現」の要件を満たしているもの。

b 5段階評価 1を有しない者で、1年～3年の評定平均値が3.3以上(無修正点)の者

イ「部活動特別推薦」 5%(16名)以内

a 次に掲げる本校の部活動を3年間継続する意思が明確であること。

男子ソフトボール	女子ソフトボール	ラグビーフットボール	
男子サッカー	野球	男子バスケットボール	女子バスケットボール

- b 上記の競技種目において主力選手として活躍できる能力を有するもの。
- c 5段階評価 1を有しない者で、1年～3年の評定平均値が3.0以上（無修正点）の者
- d 出願の要件のイ「個性表現」で出願すること。
- e 面接および該当する部活動の実技試験を課す。
- f 推薦申請書(推薦第2号様式(乙))の領域の欄に「部活動特別推薦 ○○部」と明記すること
- g 推薦入学志願者名簿(推薦第3号様式)の備考欄に「特別 ○○部」と明記すること

2 選考基準

(1) 勤怠・態度

態度良好(身だしなみ・礼節・言葉づかい等)で、各学年で無届欠席・遅刻・無届欠課 のいずれも5回未満の者

(2) 成績・実績

ア 「一般推薦」

(ア) 5段階評価 1を有しない者で、1年～3年の評定平均値が3.3以上（無修正点）の者

(イ) 顕著な実績(別紙 顕著な実績点数化一覧表参照)

イ 「部活動特別推薦」

(ア) 5段階評価 1を有しない者で、1年～3年の評定平均値が3.0以上（無修正点）の者

(イ) 面接時の実技試験

志願した競技種目における基礎・基本的動作を実技試験として課す

(3) その他

調査書の記載事項

面接の状況

3 選考の方法

(1) 「一般推薦」・・・一般推薦枠応募の生徒から、20%(64名)以内を選考する

内申と実績(実演)の比重は5対5とする

(2) 「部活動特別推薦」・・・部活動特別推薦枠応募の生徒から、5%(16名)以内を、面接時の実技を

重視して選考する